

令和6年度病床機能報告における 非稼働病棟等の状況について

非稼働病棟等への対応について

平成30年2月7日付け医政地発0207第1号地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」に基づき、令和6年度病床機能報告における非稼働病棟等の状況を確認

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※を有する医療機関を把握した場合には、以下の説明を求めること。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※ 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、病床機能を転換する理由について説明を求めること。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

- ・ 高度急性期又は急性期と報告した病棟のうち、急性期医療を全く提供していない病棟については、その妥当性を確認すること。

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能	病棟を稼働していない理由	今後の運用見通しに関する計画
東濃	多治見市民病院	3階 HCU (2床)	休棟棟 再開予定	看護師不足に伴い受け入れを一時中断。運営が社会医療法人厚生会となって以後、入院患者数は増加傾向で再開の検討を行っていたところ、新型コロナウイルス感染症が大流行。新型コロナウイルス感染症は落ち着きつつあるが、現時点でも看護師が不足している状況であるため。	人員の目途が立ち次第運用を再開予定。ただし、病床区分としては高度急性期ではなく、回復期（地域包括ケア病棟）を積極的に検討する。なお、2床での運用は効率的ではないため、急性期病棟の一部についても同時に回復期への移行を検討する。
東濃	土岐市立総合病院	3B (57床)	休棟棟 再開予定	医療従事者（医師・看護師）が大きく不足している。医師は、平成22年度をピークに年々減少し、令和7年6月現在、26名（研修医含）、看護師は令和2年3月末に多数の退職者があり、看護師不足により3病棟を休棟としていたが、新型コロナ流行によりスタッフが疲弊し退職者が増加。夜勤のできる看護師が不足し、更に1病棟閉鎖せざるを得ず、現在は4病棟閉鎖している。各大学へ医師派遣を依頼しているが、各大学は新病院からの派遣を考えており、現病院への派遣はない状況。	令和8年2月、当院と東濃厚生病院が統合した「公立東濃中部医療センター」が開院。 急性期 296床、回復期 44床、地域包括 40床、緩和ケア20床 計400床 診療科36科 医師数90名（予定）
		5B (38床)	休棟棟 再開予定		
		3A (36床)	休棟棟 再開予定		
		4A (51床)	休棟棟 再開予定		

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

該当なし

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

該当なし